

愛知県立名古屋聾学校沿革史

明治34年4月 視覚に障害のある青年教師長岡重孝、私立名古屋盲学校を
中区南伏見町に設立

11月 ろう者も受け入れて私立名古屋盲哑学校と改称

明治35年4月 中区東橋町に移転

明治36年10月 中区南鍛冶屋町に移転

大正元年10月 市立に移管し名古屋市立盲哑学校となる 東区小川町に設立

大正3年8月 技芸科に図画科・裁縫科設置 寄宿舎設置

大正9年4月 新入生に純口話式の教育を開始 技芸科に家具科設置

大正10年1月 中区宮前町に改築移転

大正13年4月 「盲学校及聾哑学校令」施行により中等学校に昇格

大正14年7月 文部省主催聾哑学校教員講習会開催

昭和2年10月 創立15周年記念式典挙行

昭和7年4月 県に移管され愛知県盲哑学校と改称

昭和8年4月 盲学校・聾学校分離が実現し愛知県聾学校となる

9月 東区千種町振南に新校舎竣工移転

昭和12年5月 ヘレン・ケラー氏来名 本校を訪問

10月 創立25周年記念式典挙行

昭和13年6月 理髪科設置認可

昭和15年3月 「愛知県聾学校二十五周年史」発行

昭和19年8月 初等部児童が碧海郡知立町に学童疎開

昭和20年2月 西加茂郡猿投村に再疎開

3月 空襲により校舎大破

4月 中等部以上の男子は名古屋造兵廠、女子は諏訪被服廠に学徒動員

昭和21年3月 東春日井郡守山町小幡に分教場設置

昭和22年6月 分教場を閉鎖し全員本校に復帰

昭和23年4月 盲・聾学校就学義務制施行 同窓会創立 PTA発足

9月 ヘレン・ケラー氏再度来名 名古屋駅にて全校歓迎

11月 愛知県立名古屋聾学校と改称

「発語発音指導体系」発行

昭和29年10月 ヘレン・ケラー氏三たび来名 名古屋駅にて歓送迎

昭和30年6月 千種分校起工式挙行

昭和32年4月 幼稚園及び小学部、千種区若水の千種分校へ移転

昭和33年4月 千種分校竣工式挙行

11月 千種区田代町鹿子殿に校舎移転決定

昭和36年9月 鹿子殿校舎起工式挙行

昭和37年5月 鹿子殿校舎落成 創立50周年記念式典挙行「創立五〇周年記念誌」発行

昭和39年3月 4月 幼稚部・小学部から成る千種分校分離独立し、愛知県立千種聾学校開設

鹿子殿校舎は中学部・高等部本科・専攻科で従来の学校名を踏襲

10月 新校訓「自らを磨き 自らに克つ」を定める

昭和42年1月 校歌制定

10月 第1回全日本聾教育研究大会開催

昭和46年11月 第1回文化祭開催

昭和47年4月 高等部普通科設置

昭和48年4月 高等部機械科設置

機械科連携教育開講式を愛知県立愛知工業高等学校にて挙行 専攻科に普通科及び機械科設置

昭和56年11月 創立80周年記念式典挙行「名聾八十年史」発行

平成6年3月 高等部理容科廃科

平成7年10月 第29回全日本聾教育研究大会（愛知大会）開催

平成13年9月 創立100周年記念碑除幕式

11月 創立100周年記念式典・講演会挙行 「創立100周年記念誌 道」発行

平成30年4月 機械科連携教育開講式を愛知県立愛知総合工科高等学校にて挙行

令和3年7月 創立120周年記念航空写真撮影

令和4年4月 高等部生活デザイン科・インテリア科・機械制御科に学科改編

専攻科情報ビジネス科に学科改編

10月 第56回全日本聾教育研究大会（愛知大会）開催

